

### ほほえましいサポート風景（活動報告書より）



○想像力が豊かで、次々とあそびを作ってくれて楽しく過ごせました。ママがAくんの気持ちを大切にされている様子が伝わってきます。私達にも気づかいを忘れないやさしいAくんです。食事を食べさせてあげればたくさん食べます。「ずっと子どもでいたい」と言っていますよ。

5歳男児 仕事の忙しい時の預かり

○Bちゃんは手足をバタバタさせて動いていました。“10分位眠り目が覚めて”を2~3回繰り返し、泣いたので抱っこするとすぐに泣きやみ、ごきげんさんでした。寝かしてもそばにいるのがわかるのか、右の方に向けて左肩を浮かす感じで横になったり、じーっと見たり、手足を動かして元気いっぱいでした。少し泣いたので抱っこをすると眠りました。1時間ほどすると起きてミルクのみました。

2か月女児 ワクチン接種のための預かり

男の子のおもちゃが少ないのですが、CくんもDちゃんもママごとやりかちゃん人形で遊んでくれました。三女とCくんは同じ年で、楽しそうにすごろくで白熱していました。バルーンや水風船、シャボン玉でも遊びました。最後はママごとでスイーツばかりを集めて女子4人でスイーツパーティーをしてかわいかったです。

6歳男児・5歳女児 学校・幼稚園が休み時の預かり

#### 【事務局注】

会員間の合意があれば、協力（両方）会員の子ともと依頼会員の子ともと一緒に過ごすこともあります。この事例では両方会員さんの子とも3人（小学生）が夏休みであったので、一緒に遊び、お昼ごはんや晩ごはんも一緒に食べました。

（依頼子ども分の食費は依頼会員の負担となります）

ほんの一部を載せました。すべてのお預かりの報告書がセンターに届きます。どの援助も温かくサポートしていただいている様子に心から感動し、感謝いたしております。これからも私達はそれぞれの会員さんの立場に立って、助けたり助けられたりという出会いを通して、みなさんが笑顔で幸せに過ごせますよう日々心がけてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

### 事務局よりおねがい

○センターへ提出する書類に押印はなくなりました。

入会申込書・変更届・会員証再発行届・退会届・報告書です。

ただし、車での援助の際の会員同士で取り交わす誓約書は押印をお願いします。

職場や無償化（市教育保育課）の手続の際に、報告書に押印が必要な方はその旨を協力・両方会員さんにお伝えください。

○預ける人も預かる人も家族の健康状態をチェックして、活動前には体温を測ってください。

○原則としてファミサポで援助活動が行えない場合

1. 預ける子どもさんが病気の時
2. 預ける人も預かる人も同居の家族に体調不良者がいる時
3. 本人や同居の家族がPCR検査を受け、または受けることとなり、結果が判明するまでの期間  
※但し、濃厚接触者に指定された場合の検査は、結果が陰性であった場合でも保健所より一定期間の自宅待機を指示される為、その期間は預かりは行えない。
4. 子どもさんが所属する学級、学年または施設自体が、感染症により閉鎖している時

### ご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。

#### 会員

随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃいます。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介いただければありがたく思います。よろしく願いいたします。

#### お申し込み・お問い合わせ先

#### 伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

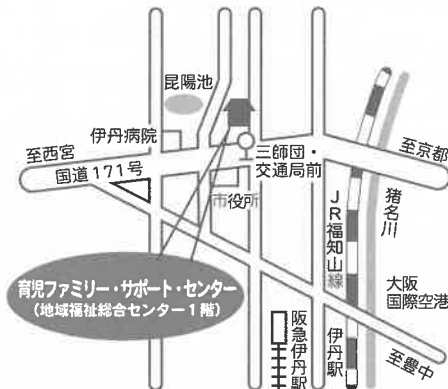
〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地  
伊丹市立地域福祉総合センター1階  
(いたみいきいきプラザ)

TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで

休館日 日・祝日、年末年始

交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ



この印刷物は2,500部作製し、印刷経費は1部あたり20.46円です。



第50号

発行年月  
令和3年12月

育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。

### 申込随時

### 令和3年度 必須講座

第2回

#### 心の発達とその問題 「こどもの障がいの種類や特徴について」

講師：市こども発達支援センター 職員

令和4年 9:30  
2月3日木 11:00

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

#### 心の発達とその問題 「障がいのあるこどもとの関わり方について」

講師：市こども発達支援センター 職員

令和4年 11:10  
2月3日木 12:40

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

#### こどもの世話 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師：市健康政策課 保健師

令和4年 9:30  
2月4日金 11:00

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

#### こどもの栄養と食生活 「こどもの栄養と食生活」

講師：市健康政策課 栄養士

令和4年 11:10  
2月4日金 12:40

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

厚生労働省より通知があり、乳幼児の緊急救命講習会（AED、心肺蘇生等）及び事故対策講習会について、預かりを行うためには5年に1回の受講が必須となりました。受講済みの方も5年以内に再度受講いただきますよう、よろしく願いいたします。

#### 子育て支援サービスを提供するために 「実際に活動を行うにあたっての 手順やルール、注意事項について」

講師：育児ファミリー・サポート・センターアドバイザー

令和4年 9:30  
2月5日土 11:00

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

#### 安全・事故 「事故対策講習会」

講師：NPO法人 C・キッズ・ネットワーク

令和4年 11:10  
2月5日土 12:40

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

#### 安全・事故 「乳幼児の緊急救命講習会」

講師：イタミライフキーパー 応急手当普及員

令和4年 10:00  
2月6日日 11:30

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

#### 保育の心 「育児支援者としての心構えと 親子との関わり方について」

講師：市幼児教育推進課 保育士

令和4年 9:30  
2月7日月 11:00

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1

預かりを行う会員は全講座の受講が必要です。

- 各講座には定員がありますので事前にお申込みください。
  - 一時保育あり（1歳以上就学前まで） 託児料（1人/300円 2人目以降/150円）
  - 参加費は無料
- ※事前に事務局にご連絡ください ※託児室は会議室2にて

## 必須講座

第1回 24名の方に受講いただき、その内6名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

### 心の発達とその問題

#### 「こどもの障がいの種類や特徴について」

令和3年  
6月30日  
水

講師 市こども発達支援センター 職員 小嶋千恵美さん

発達障害の主な3つ（自閉症スペクトラム・学習障害・注意欠陥多動性障害）の特性や共生社会の実現に向けて「違っている部分を認め合う」「先入観を持たない」「地域の中で生活すること」が大切であると学びました。伊丹市は、発達に支援が必要な子どもに対して、こども発達支援センター（あすばる）を中心とした地域支援体制になっており、あすばるでの具体的な取り組みを教えてくださいました。



### 心の発達とその問題

#### 「障がいのある子どもとの関わり方について」

令和3年  
6月30日  
水

講師 市こども発達支援センター 職員 小嶋千恵美さん

関わり方の大切な4つのポイント（1こどもの行動の特徴をつかむ 2子どもにわかる伝え方をする 3できたことをほめる 4その子どもにあった方法で、必要な時に必要なだけ関わる）を具体的に学びました。グループワークでは、「こんなときどうする？」（順番が待てない、同じ行動を繰り返す、遊びがやめられず帰れない）をどうすればいいのか積極的に話し合い、実際にあすばるで行っている方法も教えてくださいました。



### 保育の心

#### 「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」

令和3年  
7月1日  
木

講師 市幼児教育推進課 神津こども園 副園長 芝田明子さん

こども園で大切にしている「こどもや保護者との関係づくり」について話していただきました。保育現場での事例を通して、保護者に対して短い時間内でのコミュニケーションの取り方や気を付けていること、こどもの気持ちに寄り添い気持ちを読み取り理解する大切さを学びました。サポーターの役割と心構えとして、「命を預かる」という自覚を持ち、親子にとって安心できる存在、居場所であることが大切であると教えてくださいました。



### 子育て支援サービスを提供するために

#### 「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」

令和3年  
7月1日  
木

講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

安心・安全な援助活動を行うために、育児ファミリー・サポート・センター事業の制度・援助内容・補償保険・コロナ禍での援助活動のお願い等をアドバイザーより説明しました。「こんなとき、どうする？」では、様々な事例にそって熱心に取組み、料金の計算も実際に行いました。



### こどもの世話

#### 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

令和3年  
7月2日  
金

講師 市健康政策課 保健師 西島春花さん

こどもの発達や年齢（0歳～小6）によって起こりやすい事故とその予防法についてや夏に多い熱中症については、要因（環境・からだ・行動）、症状、対処法、予防法をそれぞれ詳しく学びました。最近の子育て事情では、泣いたらたくさん抱っこすること、断乳は1歳から1歳半とゆっくりになっていること、外出時用の使い捨て哺乳瓶があることを知り、驚く受講者がいました。



### こどもの栄養と食生活

#### 「こどもの栄養と食生活」

令和3年  
7月2日  
金

講師 市健康政策課 栄養士 池田典子さん

身近な食中毒の種類とその予防対策について詳しく学びました。また、少量のバック飲料も砂糖が大量に入っているの、食べたこどもは2時間経たないと空腹にならないということにみなさんびっくりされました。最後に「ファミサポで保護者から離れて過ごす時は、こどもが安心できる食事が良いので、食べ物も好きなものに寄せてOKですよ」と言っていました。



### 安全・事故

#### 「乳幼児の緊急救命講習会」

令和3年  
7月3日  
土

講師 イタミライフキーパー 応急手当普及員 宮崎涼二さん

まず、心肺蘇生法とAEDのポイントや使い方のビデオを見ました。乳児・幼児・大人の人形を使った実習では、乳児の人形がとても小さくて「ドキドキするわ～」と緊張しながらも、熱心に真剣に取り組みました。「日頃より、どこにAEDがあるのかチェックします」と声が届きました。



### 安全・事故

#### 「事故対策講習会」

令和3年  
7月3日  
土

講師 NPO法人C・キッズ・ネットワーク 大森節子さん

こどもの視野体験では、こどもの視野の狭さに受講者一同驚きました。ベビーカーやおもちゃなど乳幼児が使用するものは、安全基準マークのついているものを選ぶこと。また、安全基準マークは何種類もあると知りました。こどもの不慮の事故を防ぐには、①先回りをして予防策をとる②近くにいるから大丈夫と思わない③予防策が取れにくい場所では、きちんとこどもを見守る、と事前に対策することが大切と教えてくださいました。



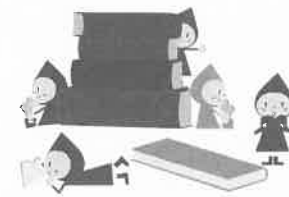
## スキルアップ講座

#### 心がつながる絵本の読み聞かせ ～言葉と声のぬくもりをあなたに～

講師 NPO法人「絵本で子育て」センター 羽石憲子さん

令和3年 9月4日(土)

絵本は、こどもも大人もいろいろな疑似体験ができ、その体験で得た感情を受け止めてもらうことで、安心・信頼を得て、自立につながると教えていただきました。また、絵本を教科書にするのではなく、愛情をこめて読むだけで生の声のあたたかさを感じ心の成長につながることも学びました。羽石先生の絵本を読む優しい声に、あたたかさを感じることに実感され、思わず涙ぐむ参加者の方々がおられました。



#### 「ファミリーあんしん防災講座」 あなたの命が家族を守る！

講師 イタミライフキーパー 防災士 宮崎涼二さん

令和3年 9月26日(日)

災害が起きると被災者がいちばん情報を得ることができないので、情報を誰から又どこから取るのかを前もって考えておくことが大切と教えていただきました。実際に携帯電話でQRコードの読み取りをして情報の取得を行いました。手作りの部屋の模型を使って家具等が倒れないような工夫を見せてもらったり、先生の防災グッズ（リュックの中身）を見せてもらったり、どこでどの様なものを購入し、どの様に準備するのかを学びました。



## スキルアップ講座のお知らせ

～ご参加を心よりお待ちしております～

令和4年  
1月29日  
土  
10:00～11:30

### ストレスに対応して子育てを楽しむ

こどもも自分も大切にしながら、子育てストレスとの付き合い方やこどもへの関わり方を一緒に考えてみませんか・・・

場所/いたみいききプラザ3階 会議室1・2  
講師/女性ライフサイクル研究所フェリアン 森崎和代さん  
定員/25名 託児/10名(先着順、要予約) 1歳以上就学前 1人 300円  
申込/電話にて(先着順) 子育て支援センター TEL 771-1152  
※0歳は同室可

\*子育て支援センターと共催の講座です。

受付は令和3年  
12月15日(水)  
からです